



第 67 回 特別基金講演会
「海運のカーボンニュートラル及び船舶の運航を支える
最新技術と動向」

主催： 日本マリンエンジニアリング学会
協賛： 計測自動制御学会，自動車技術会，精密工学会，ターボ機械協会，電気学会，日本エネルギー学会，
(予定) 日本ガスタービン学会，日本機械学会，日本航海学会，日本材料学会，日本船舶海洋工学会，
日本トライボロジー学会，日本内燃機関連合会，陸用内燃機関協会

地球温暖化の進行を止めるため脱炭素社会の実現に向け様々な取り組みが行われています。マリンエンジニアリング業界においては、機器の高効率化や代替燃料への転換に対応するため、多くの技術開発が行われています。また船舶の運航分野においては、船員の高齢化や国内離島航路の維持、ヒューマンエラーによる事故減少の観点から、センシングやソフト面における技術開発と実証試験が行われています。これらの背景から、マリンエンジニアリング学会の特別基金講演会として、2020年6月に「GHG問題に対する燃料からのチャレンジ」、2021年3月に「GHG排出削減に向けた他業種、他分野における取り組み」、2022年3月に「カーボンニュートラル及びCO₂削減に向けた船用業界の取り組み」と題して、様々な情報発信を行って来ました。本年度は、それらを適用した船舶の運航や新技術の運用を支える技術にクローズアップし、「カーボンニュートラルポート (CNP)」、「水素サプライチェーン」、「蓄電池・電池推進技術」、「サイバーセキュリティ」、「自律運航船」をキーワードとして、貴重な情報を含んだ6件の講演を頂きます。本年度も現地対面による聴講とともに、リアルタイムのオンライン聴講も可能となっております。奮ってご参加下さい。

- 【開催日時】** 令和5年3月10日(金) 10:00 ~ 15:50
【開催場所】 建築会館ホール(東京都港区芝5丁目26番20号 TEL: 03-3456-2051)
【開催方法】 ハイブリッド方式(会場での講演 & Live 配信)
【申込方法】 申込締切日 令和5年3月3日(金) 参加者は、必ず事前登録してください。
 JIME ホームページ(<https://www.jime.jp>)から[イベント申込み]→[第67回特別基金講演会「海運のカーボンニュートラル及び船舶の運航を支える最新技術と動向」]→[参加登録]→[このイベントに参加をしたい場合は、ログインまたは新規会員登録を行ってください]→[ログイン(ID, パスワードを入力)]をクリックし、
 (1) 会員登録済の方は[ログイン(ID, パスワードを入力)]をクリックし、お申し込みください。
 (2) ID, パスワードをお持ちでない方は、最初にイベント会員としてID, パスワードを登録してから、上記(1)の手順でお申し込みください。
【参加登録料】 正会員・協賛学協会会員 8,000 円, 名誉会員・永年会員・シニア会員・学生会員 6,000 円, 維持会員所属の非会員 12,000 円, 非会員 16,000 円 (消費税含む.)
 学会の振込口座に振込願います。(予稿集1冊を含む.)
【CPD ポイント】 会員の方は、会員カードをご持参ください。学習ポイント: 10 ポイント

プログラム

10:00-10:05	開会挨拶	企画委員会 委員長 石崎 昌幸(阪神内燃機工業)
10:05-10:45	カーボンニュートラルポート (CNP) 形成の取組について(仮題)	国土交通省 辻 誠治 氏
10:45-11:25	水素サプライチェーンと液化水素基地	川崎重工業 林 尚一郎 氏
11:25-12:45	昼休憩	
12:45-13:25	Corvus Energy の海事産業向けバッテリーシステムの開発・納入活用事例 および 水素 FC システムの開発について	住商コルバスエナジー 小林 拓生 氏
13:25-14:05	EV タンカー『あさひ』の計画, 建造, 就航をふりかえって	e5 ラボ 土屋 岳彦 氏
14:30-14:45	休憩	
14:25-15:05	船舶のサイバーセキュリティ対応のこれから	MTI 柴田 隼吾 氏
15:05-15:45	無人運航船プロジェクト MEGURI2040 における取り組み	日本海洋科学 桑原 悟 氏
15:45-15:50	閉会挨拶	企画委員会 副委員長 高橋 千織(海上技術安全研究所)

注) 本プログラムは予告無しに変更になることがあります。